



設計者のハーベグ氏と通訳



北側（道路）から見た家住宅



南面から見た住宅

外壁は、25mm厚、塗装無しの無垢材。13年経過して一部が黒ずんでいる（カビか？）。



北側屋根、傾斜が緩くなっている所は草である。メンテナンス不要とのこと。



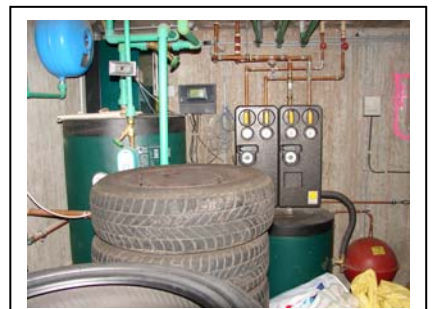
リビングから見た景色、絶景



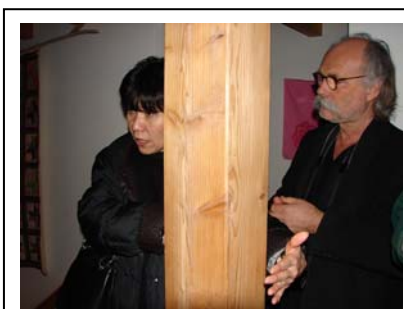
リビング右の壁が暖房壁



壁下のサーモスタット付の温水導入部

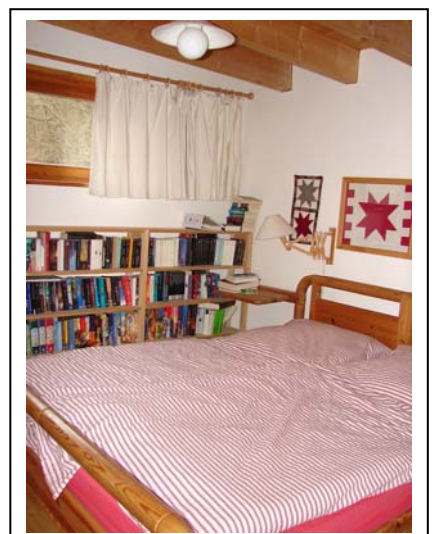


ガスボイラー室兼物置



16×16cmの構造柱
ティンバーフレーム工法

右：構造材が現しの部分を見る
階段とベッドルーム



2階の部屋の高さは、天井を低くして気積を減らしエネルギー効率を高めている。但し、子供部屋は天井高を高くしてロフトを設けている。

天井高は、昔の家では3.5m程度、現在は、2.5m程度が一般的だ、とのことだった。